

令和5年度 和牛アカデミー

令和5年11月6日

和牛甲子園事務局

(JA全農 畜産総合対策部 畜産販売課)

次第

I. 第7回和牛甲子園概要説明

15 : 30～

1. 大会概要
2. 大会当日までの依頼事項
3. 大会Q&A
4. 配送ルート

II. 研修会

16 : 30～

「日本飼養標準の（2022年版）の改定のポイントと実践」

III. 質疑応答他

17 : 20～

第7回和牛甲子園出場校（25道府県41校61頭）

第7回参加校					
No.	県	学校名	No.	県	学校名
1	北海道	北海道倶知安農業高等学校	21	岐阜県	岐阜県立大垣養老高等学校
2		酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	22		岐阜県立加茂農林高等学校
3	青森県	青森県立三本木農業恵拓高等学校	23		岐阜県立飛騨高山高等学校
4	岩手県	岩手県立水沢農業高等学校	24	愛知県	愛知県立渥美農業高等学校
5		岩手県立盛岡農業高等学校	25	滋賀県	滋賀県立長浜農業高等学校
6		岩手県立花巻農業高等学校	26	京都府	京都府立農芸高等学校
7	宮城県	宮城県農業高等学校	27	島根県	島根県立出雲農林高等学校
8	福島県	福島県立会津農林高等学校	28	岡山県	岡山県立瀬戸南高等学校
9		福島県立磐城農業高等学校	29	広島県	広島県立西条農業高等学校
10	茨城県	茨城県立水戸農業高等学校	30		広島県立庄原実業高等学校
11	栃木県	栃木県立宇都宮白楊高等学校	31	山口県	山口県立大津緑洋高等学校
12		栃木県立鹿沼南高等学校	32	福岡県	福岡県立糸島農業高等学校
13		栃木県立栃木農業高等学校	33	大分県	大分県立久住高原農業高等学校
14		栃木県立那須拓陽高等学校	34	佐賀県	佐賀県立唐津南高等学校
15		栃木県立真岡北陵高等学校	35	長崎県	長崎県立諫早農業高等学校
16		栃木県立矢板高等学校	36	熊本県	熊本県立南稜高等学校
17	群馬県	群馬県立利根実業高等学校	37	宮崎県	宮崎県立高鍋農業高等学校
18		群馬県立吾妻中央高等学校	38	鹿児島県	鹿児島県立市来農芸高等学校
19	神奈川県	神奈川県立中央農業高等学校	39		鹿児島県立鶴翔高等学校
20	富山県	富山県立中央農業高等学校	40		鹿児島県立鹿屋農業高等学校
			41		鹿児島県立曾於高等学校

【備考】 初出場校2校（福岡県立糸島農業高等学校、大分県立久住高原農業高等学校）
 ※なお、前回第6回大会は23県40校55頭の参加

1. 第7回和牛甲子園開催概要：①目的・概要

■和牛甲子園開催の目的

- ・全国には農業高校が300校余りあり、授業やクラブ活動の一環として高校生（“高校牛児”）の手によって和牛が飼育されています。
- ・全国の高校生と彼らが育てた和牛が集まり、日ごろの和牛飼育の取り組みを発表し、その成果としての枝肉を競い合う大会として開催をしています。
- ・本大会は、①将来の担い手候補である高校生の就農意欲の向上、②日本各地で同じ志を持つ高校生同士のネットワークを創出し、意欲と技術の向上を図ることを主たる目的としています。

■大会概要

1.開催日時 : **令和6年1月18日（木）13:00～1月19日（金）15:30** 余裕をもってお越し下さい。

2.開催場所 : (1) 品川グランドホール（THE GRAND HALL）（体験発表会、褒章式等）
(2) 東京都中央卸売市場食肉市場（枝肉勉強会、枝肉共励会）
※前回大会と同会場での開催です。

3.大会内容

(1) 体験発表会その他 : 品川グランドホールで開催

①各参加校は取組内容を事前に動画で撮影し当日までに審査

②審査結果は審査員の講評とともに大会中に発表

(2) 枝肉勉強会・共励会 : 東京都卸売市場食肉市場で開催

*大会の様子は、見学者やメディアに向けて配信（Youtube）

1. 第7回和牛甲子園開催概要：②開催場所地図

- 場所：品川グランドホール・東京食肉市場（両方とも品川駅近くとなります。）



1. 第7回和牛甲子園開催概要：③スケジュール1日目（1月18日）【品川GH】

進行時間	所要時間	次第	概要
13時00分～13時40分 ※受付12:45に済ませるよう、余裕をもってお越しください。	40分	開会式	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶（5分） 2. 来賓紹介（2分） 3. 来賓挨拶（5分×2名） 4. 出場校紹介（8分） 5. 優勝旗返還（3分） 6. 選手宣誓（2分） 7. 審査委員紹介（2分） 8. 審査基準説明（3分）
13時50分～14時00分	10分	休憩	
14時00分～15時20分	80分	体験発表会 審査結果発表 受賞校による特別発表（6校） 高校牛児特別賞発表 審査委員特別賞発表 審査委員長による審査総評	【各校より提出された動画を事前審査で順位決定】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 審査結果発表（5分） 2. 受賞校発表（10分×6校+交代1分） <ul style="list-style-type: none"> ・優良賞発表（1分）{実演（7分）→審査委員講評（1分）→受賞校挨拶（2分）}×3校 ・優秀賞発表（1分）{実演（7分）→審査委員講評（1分）→受賞校挨拶（2分）}×2校 ・最優秀賞発表（1分）実演（7分）→審査委員講評（1分）→受賞校挨拶（2分） 3. 高校牛児特別賞発表(司会)（3分）→受賞校挨拶（2分） 4. 審査委員特別賞発表（審査委員長）（2分） 5. 審査委員長総評（8分）
15時20分～15時30分	10分	休憩	
15時30分～16時10分	40分	高校牛児OB・OG講話 「先輩から後輩牛児へ送るメッセージ」	講話者：第3・4回大会総合評価部門 最優秀賞受賞校 鹿児島県立市来農芸高等学校の卒業生3名 内容：高校生の進路・職業選択のためのケーススタディー 参加方法：3名実参加予定 時間配分：司会者との質疑応答方式10分間×3名（本編25分+質疑5分） 総括5分：恩師からのコメント 取組評価部門審査委員長より参加生徒への進路選択関係でのアドバイス等
16時10分～16時20分	10分	休憩	
16時20分～17時20分	60分	体験発表会カンファレンス	体験発表会の内容のグループ別ふりかえり学習 内容：全参加校を6班に分けて体験発表会の振り返り実施 方法：体験発表会サマリー報告（2分）+講評（2分）+ディスカッション まとめ：取組評価部門審査委員長 多田先生
17時20分～17時30分	10分	休憩	
17時30分～18時00分	40分	交流会	各校自由交流
18時00分～18時30分	閉会挨拶 退場	閉会挨拶+翌日の諸注意	18:30 に完全解散

1. 第6回和牛甲子園開催概要：③スケジュール2日目【東京食肉市場+品川GH】

進行時間	所要時間	次第	概要
8時00分～9時30分 ※1日目の最後に改めて集合時間等お知らせ予定	90分	枝肉勉強会	テーマ:出品牛の枝肉を検品することで日頃の活動の成果・課題を確認し、さらなる技術向上のため枝肉評価の実務・内容を学習する。 班 分:全7班に班分(参加校41校⇒6校×6班、5校×1班) 内 容:1校当たり5～10分の解説講義と質疑応答を実施 その他:解説講義・質疑応答以外の時間は、任意に他校の枝肉を見学実施。
9時30分～10時30分	60分	枝肉共励会	テーマ:日本の和牛流通の中心地である東京食肉市場で出品牛を中心に自校・他校の枝肉セリを見学することで、相場形成の実態を学習する。 方 法:枝肉共励会への参加
10時30分～11時30分	60分	移動・休憩	着替え後、品川グランドホールへ移動
11時30分～12時00分	30分	特別授業(講演会)	卒業後の「進路」をテーマにした講演会予定 ・形式:司会者と講演者計による対話方式 ・内容:高校卒業後の進路・職業選択等
12時00分～13時00分	60分	休憩(昼休み)	お弁当配布
13時00分～13時30分	30分	枝肉評価部門審査委員長による入賞牛解説と枝肉勉強会のまとめ講義	テーマ:入賞牛を実例とした枝肉評価のポイント解説と勉強会の振り返り 解説者:枝肉評価部門審査委員長 小林委員長 時 間:30分【本編18分(6頭×3分間)+講義12分】 内 容:枝肉評価のポイントを中心に本日の勉強会のまとめ講義
13時30分～13時45分	15分	休憩	
13時45分～14時45分	60分	褒賞式	1.主催者挨拶(5分)⇒主催者(常務理) 2.結果発表(5分) 3.褒賞授与(20分) 4.来賓祝辞(3名×5分=15分) 5.最優秀賞受賞校挨拶(5分) 6.閉会の辞(5分)
14時45分～15時30分	45分	写真撮影 入賞校取材等	1.入賞校の写真撮影(※遠方の学校を優先) 2.入賞校インタビュー
16時00分		完全解散	

※緑色枠部分は東京食肉市場での学習活動

1. 第7回和牛甲子園開催概要：④その1－各講座の実施内容

■ 体験発表会カンファレンス：体験発表会のグループ別ふりかえり学習（手順・実施内容等）

step1.各校より体験発表会のサマリー発表⇒**出場校は発表者・発表内容（2分以内）の事前準備をお願いします**

step2.審査委員による講評

step3.step2.終了後、審査委員を進行役に『次回の体験発表にむけて、どう進めていくか』をテーマにグループワークを行い、体験発表会の内容を深堀・深耕を実施。

■ 特別授業：高校卒業後の「進路」「職業選択」をテーマにした講座を設定

登壇者により下記2パターンによるケーススタディを実施中(※過去の特別授業一覧はP5参照)

その①講話

ア.テーマ：過去大会で総合評価部門最優勝賞を受賞した卒業生が語る「進路・職業選択」について

イ.登壇者：3名程度、司会者との対話方式で進行

ウ.講話の内容：進路選択の経緯、当大会での最優勝賞受賞から高校卒業後の進路・近況報告

その②講演

ア.テーマ：畜産業界の第一線の現場で活躍する中堅社会人から見た「進路・職業選択」について

イ.登壇者：中堅社会人、司会者との対話方式で進行

ウ.講演の内容：進路選択・職業選択の理由、大学時代の過ごし方、近況等

1. 第7回和牛甲子園開催概要：④その2－過去の特別事業等の内容

○表.過去に実施した特別授業の実例・概要

過去大会	講座名	概要	講演者	備考
第1回大会	特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉販売の最前線とブランディング戦略 ・映画「ステーキレボリューション」出演秘話 	佐藤 健一 様 サトウ食品(株) 代表取締役会長	
第2回大会	特別授業	肉牛生産農家による生産現場の最前線からの報告	五十嵐 貞雄 様 (株)五十嵐ファーム 代表取締役	
第3回大会	特別授業	著名人による実体験披露	寺門 ジモン 様 芸人	
第6回大会	卒業生講話	進路選択のための卒業生講話	第1回・第2回大会参加飛騨高山高等学校 卒業生3名	・進路問題にフォーカス
第6回大会	特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・理系女子の職業選択と家業継承、女性目線の職場づくり ・映画「ステーキレボリューション」世界3位からの挑戦 	佐藤 理香 様 サトウ食品(株) 代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ・進路問題にフォーカス ・「リケジョ」視点による進路・進学問題 ・家業継承と親子関係 ・女性の視点からみた職場問題・職場づくり

1. 第7回和牛甲子園開催概要：④その3－開催方法（品川2会場での実参加）

○主会場

グランドホール（東京・品川）



- ・開会式・褒賞式等の開催
- ・各プログラムの実施
- ・体験発表会・特別授業
- ・学校交流会・枝肉解説 其他
- ・専門司会者による進行

主会場から配信実施

【静止画・動画データを持ち込み】
セリ画面動画・入賞牛の枝肉解説等

○サブ会場

東京都卸売市場食肉市場（東京・品川）



枝肉勉強会
枝肉共励会
セリ見学

冷蔵庫で実地参加
セリ場で実体験
見学場での体験

全国から品川に集まった
参加校（41校）

- ・ 1/18、1/19PM
グランドホール
- ・ 1/19AM食肉市場での体験

全二日間の実参加の
体験型学習を実施

全国の参加校の在校生等
（実参加できない生徒さんへのケア）

- ・ WEB配信による受講
- ・ 当日データの電子アーカイブ化
当日データ利用による進化・深堀
後日の復習学習

※データ化で多様な事後学習が可能



外部向けWEB配信
（一方向型）

（Youtubeにて限定公開）

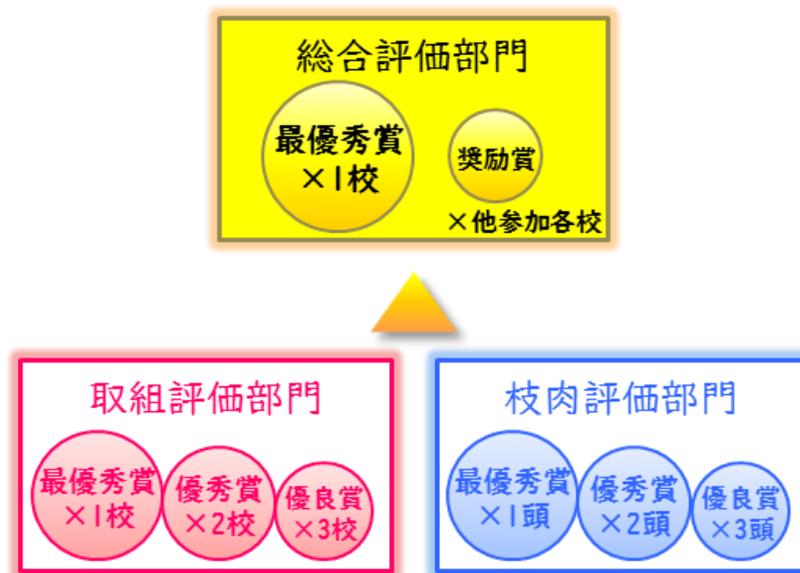


見学者・メディア

時間・場所の制約なく、
大会の様様を視聴可能

1. 第6回和牛甲子園開催概要：⑤評価等—和牛甲子園の評価部門について—

(1) 総合評価部門について



①取組評価部門

最優秀賞 1点、優秀賞 2点、優良賞 3点の計 6点とする。

②枝肉評価部門

最優秀賞 1点、優秀賞 2点、優良賞 3点の計 6点とする。

③総合評価部門

取組評価 50点 + 枝肉評価 50点の合計 100点で評価する。

(最優秀賞 1点のみで、他は奨励賞)

1. 第6回和牛甲子園開催概要：⑤取組評価部門の評価ポイント・減点ポイント

(2) 取組評価部門審査基準：5つの評価ポイント、2つの減点基準

① 5つの評価ポイント：時間の項目は審査項目から外し（減点基準のみ）、時間以外の5項目の基準により審査を行う

	評価項目	体験発表会評価ポイント
1	チャレンジ・挑戦	前年と比べてどのような新しい取組みを行っているか、困難に直面したときどのように問題解決を行ったのか、高校生のチャレンジ・挑戦を評価出来る発表であるか。
2	発表資料	発表資料はわかりやすく、起承転結がしっかりした内容で、誤字脱字がなく、構成・図表等を含め読み手に対して取組内容が的確に伝わるものであるか。
3	発表内容1 (表現)	発表は、論理的・客観的で分かりやすく、かつ明瞭簡潔で聞き取りやすく、チームワーク等も伝わる意欲溢れた内容であるか。
4	発表内容2 (目的・創意工夫等)	取り組むべき目標を計画的に進め、高校生らしい創意工夫や独自性がある目的意識を持った取組内容であるか。
5	総合	全体を通して評価すべき内容があれば加点。

② 2つの減点基準：発表時間と提出期限の遵守

(ア) 7分20秒以上の発表となった場合、1点減点を行う。その後30秒超過するごとに1点減点する。

(イ) 特段の事情なく、各資料の提出期限に間に合わなかった場合、一つにつき1点減点する。

※前回大会（第6回和牛甲子園）から変更点なし

1. 第6回和牛甲子園開催概要：⑤取組評価部門の審査基準

(2) 取組評価部門審査基準

③採点の考え方について

5項目×5点満点／項目×審査委員5名（審査委員6名のうち最低得点者を除く5名）の125点満点を2.5で除した50点満点とする。

(例) 以下の場合、10点を除く、 $(25 + 22 + 20 + 19 + 18) \div 2.5 = 41.6$ 点となります。

A審査員	B審査員	C審査員	D審査員	E審査員	F審査員
25点	22点	20点	19点	18点	10点

④審査の順番について

- ・事務局が事前に抽選会を行ない、順番を決定します。
- ・審査委員は上記で定めた発表順に動画を視聴して審査します。

1. 第6回和牛甲子園開催概要：⑤枝肉評価部門の審査基準 その1—全体

(3) 枝肉評価部門の審査基準について：全体

出品牛は、公益社団法人日本食肉格付協会の牛枝肉格付規格に基づく品質審査をおこない、格付結果を左図の基準により点数評価します。

50点満点 ①【BMS基準点35点+加点8点】 ②追加基準（ロース芯・ばら厚さ・脂肪酸）7点

【評価のポイント】

枝肉評価の得点					
合計50点					
	加点項目		+0～7点		
	I	追加 加点 基準	ロース芯 面積	令和4年度全国平均より(去勢・雌別)上 100cm ² (去勢)以上、 90cm ² (雌)以上	+2 上記+1
ばらの 厚さ			令和4年度全国平均より(去勢・雌別)上 10cm(去勢)以上 9cm(雌)以上	+1 上記+1	
脂肪酸 (オレイン酸)		55%以上	+2		
等級		BMS	基準点	加点	減点
II	±8				
	5等級	12	35	①歩留まり	①歩留まり
		11	33	②肉の色沢	②肉の色沢
		10	31	③脂肪の色沢と質	③脂肪の色沢と質
	4等級	9	29	④肉の締まり及びきめ	④肉の締まり及びきめ
		8	27	⑤肉付・体形	⑤肉付・体形
		8	22	⑥その他 (周囲筋の状態等)	⑥その他(周囲筋の状態等)
		7	20		
	3等級	6	18		
		5	16	上記①～⑥の内容が	上記①～⑥の内容が
5		12			
2等級	4	10	良好な項目について	劣る項目について減	
	3	8	加点(全+8点)	点(全△8点)	
2等級	3~1	6			

I.ロース芯面積・バラ厚・脂肪酸による評価項目：7点満点で配点

- ・ロース芯面積
令和4年度全国平均（去勢・雌別）以上で2点 加点、
100cm²（去勢）・90cm²（雌）以上でさらに1点 加点
- ・ばら厚さ
令和4年度全国平均（去勢・雌別）以上で1点 加点、
10cm（去勢）・9cm（雌）以上でさらに1点 加点
- ・脂肪酸（オレイン酸）
55%以上で2点 加点

II.BMSを中心とした肉質評価項目：43点満点で配点

- ①-1 BMS基準点：35点満点で配点
- ①-2 加点：8点満点で配点
歩留まり、肉の色沢、脂肪の色沢と質、
肉の締り及びきめ、肉付・体系、
その他（周囲筋の状態等）6項目の内容良
好な項目を加点

III.瑕疵が発生した枝肉は、原則として枝肉評価部門の受賞対象外とする

1. 第6回和牛甲子園開催概要：⑤枝肉評価部門の審査基準 その2—追加加点基準

(3) 枝肉評価部門の審査基準について：追加加点基準

追加加点基準の内容（前年度（令和4年4月～令和5年3月末）実績）

期間:令和4年4月～令和5年3月	胸面積 (胸最長筋面積)	バラの厚さ	脂肪酸 (オレイン酸)
黒毛去勢牛全国平均	68.2	8.4	
黒毛めす牛全国平均(未經産)	65.6	8.0	
加点基準	①平均を超えたら2点加点 ②去勢牛100cm ² めす牛 90cm ² 以上で更に1点加点	①平均を超えたら2点加点 ②去勢牛10cm めす牛 9cm 以上で更に1点加点	55%以上で2点加点

※データ提供：公益社団法人日本食肉格付協会

2. 大会に向けたご依頼事項：①提出日程と提出物一覧

- 提出依頼内容一覧 **※提出が遅れた場合は提出物1つにつき1点減点となります。**

No.		締切日	提出物	
1	- 1	11月24日	様式2 ※公式HPアップ済	枝肉共励会出品申込書
			様式3 ※公式HPアップ済	体験発表会事前審査資料提出表
1	- 2	12月15日	様式4 ※公式HPアップ済	出荷牛育成履歴申告書 ※様式は本冊P17参照
2	- 1	12月15日	発表資料・発表概要 ※発表概要はサマリーとしてA41枚程度	パワーポイント・ワード等 ※概要は採点をする審査委員動画内容理解のために作成
			体験発表会動画	7分前後の体験発表動画
3	- 1	12月15日	学校紹介動画	30秒程度の学校紹介動画
3	- 2	12月15日	出品牛応援動画	10秒程度の出品牛応援動画
4		12月22日	様式5 ※公式HPアップ済	参加予定者の確認 ※様式は本冊P23参照

提出方法 : 和牛甲子園事務局までメールまたは郵送ください。

宛 先 : zz_zk_wagyu@zennoh.or.jp

住 所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル31階
JA全農 畜産総合対策部 和牛甲子園事務局 宛て

2. 大会当日までのご依頼事項：②様式2・3について（※各校にメールで送付、HPにアップ済み）

（1）提出物

様式2：第7回和牛甲子園 枝肉共励会出品申込書（出品登録用）

様式3：第7回和牛甲子園 体験発表会事前審査資料提出表（参加登録用）

（2）様式2について

エクセルファイルに必要事項をご記入ください。

子牛登記証または血統証明書、生産履歴証明書を添付してご送付ください。

（3）様式3について

①体験発表会題名（タイトル）

②キャッチフレーズ（40文字以内）

③出品牛の写真2パターン（出品牛名簿と東京食肉市場の学校向け参加副賞に使用）

A.出品予定牛1枚（牛の顔 **左向き**）⇒※体験発表会のみの参加校は次年度出品予定牛で提出

※出品牛が2頭の場合、牛の写真に名前も付けて、それぞれ判別できるようにお願いします。

B.高校生の皆さまと出品牛（牛の顔 左向き）が写ったもの1枚の計2枚

※このデータを利用して東京食肉市場から全出場校へ参加副賞を授与します。

体験発表会出場のみの学校も上記A B両方の提出をお願いします。

（4）提出締切 **令和5年11月24日(金)まで**

提出方法：和牛甲子園事務局までメールください。

牛の顔は左向きをお願いします



事務局九で内容確認後、毛刈りNoを記載したPDFを返送

2. 大会当日までのご依頼事項：②様式4(出荷育成履歴申告)について

- (1) 提出物：様式4（出荷育成履歴申告書）
- (2) 様式4・産地コード表はHPにアップ済み
- (3) 提出締切 **令和5年12月15日(金)まで**

提出方法：和牛甲子園事務局までメールによる送付

コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県
01	北海道	13	東京都	25	滋賀県	37	香川県
02	青森県	14	神奈川県	26	京都府	38	愛媛県
03	岩手県	15	新潟県	27	大阪府	39	高知県
04	宮城県	16	富山県	28	兵庫県	40	福岡県
05	秋田県	17	石川県	29	奈良県	41	佐賀県
06	山形県	18	福井県	30	和歌山県	42	長崎県
07	福島県	19	山梨県	31	鳥取県	43	熊本県
08	茨城県	20	長野県	32	島根県	44	大分県
09	栃木県	21	岐阜県	33	岡山県	45	宮崎県
10	群馬県	22	静岡県	34	広島県	46	鹿児島県
11	埼玉県	23	愛知県	35	山口県	47	沖縄県
12	千葉県	24	三重県	36	徳島県		
コード	国名	コード	国名				
50	CHL	チリ	60	HOL	オランダ		
51	KOR	韓国	61	FRA	フランス		
52	CHN	中国	62	DEN	デンマーク		
53	USA	USA	63	BEL	ベルギー		
54	CAN	カナダ	64	IRL	アイルランド		
55	MEX	メキシコ	65	ASR	オーストラリア		
56	GBR	イギリス	66	JRM	ドイツ		
57	BRA	ブラジル	67	SPN	スペイン		
58	AST	オーストラリア	68	HNG	ハンガリー		
59	NUZ	ニュージーランド	69	その他	その他		

- (4) 様式4は写しを事務局に送付してください。事務局は記載内容チェック後、毛刈りNoを記入して学校へフィードバックします。学校は原本の相違点を確認・修正したの様式4を、子牛登記証明書とともに出品牛の運搬車に持たせるようお願いします。

出荷牛育成履歴申告書

出荷者 ID 108-0075 住所 東京都港区港南2丁目12番33号

氏名 JA全農ミートフーズ株式会社 市場課 課長 河野 隆太

畜主 ID 郵便番号: 学校の郵便番号を記載 住所 東京都 千代田区 大手町1-3

氏名 私立全農付属高等学校

個体識別番号 (JP) 13842-63883 毛刈 No. [] [] [] []

産地コード 03 岩手 都府 飼料給与 [] 有 [] 無 [x] ※ 肉骨粉を含む飼料の使用の有無

種別区分 父 04 01.ホルスタイン種 05.褐毛種 10.和牛間交雑種(08以外)

和牛 母 04 02.ジャージー種 06.日本短角種 11.肉専用種(04~10以外)

性別 牝 [] 去勢 [x] 雄 [] 生年月日 2019年11月21日

繁殖者 繁殖者の氏名・住所(学校の場合は、学校名・住所を記入)

氏名 [] 住所 []

と畜申告者名 [] 出荷区分 [x] 芝浦と畜 [] 指定と場 [] 一般搬入 []

と畜場 []

と畜日付 2024年01月18日 と畜番号 [] 記入不要

東京市場記入欄 記載不要

上場日付 [] 記入不要 上場番号 [] 記入不要

※赤字箇所を記載。青枠の説明に従い、空欄を記載ください。

2. 大会当日までのご依頼事項：③- 体験発表会動画・体験発表会資料・体験発表会概要

(1) 提出物：

①体験発表会動画 ②体験発表会資料 ③体験発表会概要

(2) 体験発表会動画：

開催要領の体験発表会動画規定をご覧ください（P.20）。

※HPからも確認できます。

(3) 体験発表会資料・体験発表会概要について：

①体験発表会資料（パワーポイント）

②体験発表会概要：図表を含まず文章のみで400字程度の分量でのご提出をお願いします。

(4) 提出締切：**令和5年12月15日(金)まで**

提出方法①体験発表会動画：事務局から送付するUSBメモリに格納しご返送ください。

※セキュリティの関係上、外部USBメモリの使用が難しい場合は別途対応しますのでご連絡ください。

②資料・概要：メールでご送付ください。

2. 大会当日までのご依頼事項：④体験発表会の動画作成での注意事項等-その1

- 審査方法：発表内容を事前に撮影した動画を提出してもらい、
審査委員にて事前審査を行い、大会当日に審査結果を発表します。
- 発表時間：開始から終了まで7分前後とする
(7分20秒を超過した場合は、1点減点、その後30秒超過ごとに1点減点)
- 動画撮影時の主な注意点：
 - 計測の開始と終了 ; 発表者が発声を始めた時点から計測を開始し、「終了します」を言い終えた時点まで
※発表時間は事務局にて確認
 - 撮影場所 ; 学校施設の屋内で行う（発表者の声が聞き取りやすい場所での撮影が望ましい）
 - 撮影画面構成 ; 発表者含め登壇者は顔まで含め上半身以上は必ず映るようにし、発表資料はパワーポイントをスクリーンに映すこと
 - 編集・加工 ; アプリやソフトによる映像・音声加工は禁止、タイトルやテロップ、クレジットの表記も不要とする。
 - 撮影後の確認 ; 撮影後に音声聞き取れるか、映像は見えるか確認すること
- 撮影機材：ビデオカメラ、タブレット端末（ipad）等を用いて撮影する
- その他 : ①詳細は [P 20（第7回和牛甲子園 体験発表会動画規定）](#) を参照
②第6回大会の体験発表動画(Y o u T u b e)を参考にし、作成すること
<https://wagyukoushien.com/2022/main/koushien04/torikumi/>

2. 大会当日までのご依頼事項：④体験発表会の動画作成での注意事項等-その1

【参考】第7回和牛甲子園開催要領 別表1.体験発表会動画規定

別表1. 第7回和牛甲子園 体験発表会動画規定

体験発表会動画の作成・提出においては、以下の点に留意して応募すること。

1 発表時間

(1) 計測の開始と終了

- 発表者が発声を始めた時点から計測を開始し、「終了します」を言い終えた時点までとする。
- 開始から終了までの時間は、7分前後とすること。

(2) 注意事項

- 発表時間が7分20秒を超過した場合は、1点減点とする。その後30秒超過するごとに1点減点とする。

2 撮影場所

- 動画の撮影場所は、学校施設の屋内で行うこと。
- 発表者の声聞き取りやすい場所での撮影が望ましい。
- 発表者の身振りや表情が分かりやすい光量の場所で撮影が望ましい。
- 撮影後に音声が聞き取れるか確認を行なうこと。

3 撮影機材

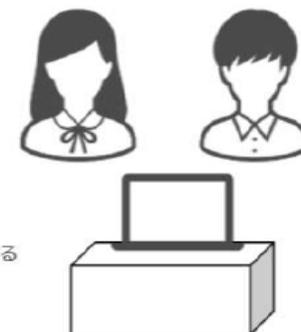
- 撮影機材はビデオカメラ、タブレット端末 (ipad) 等を用いて撮影する。
- 撮影機材は手持ちではなく、三脚など機材を固定する方法を用いて撮影すること。
- 加工は行なわないこと。

4 撮影画面構成

- 登壇する人数に制限は設けないが、発表者含め登壇者は全員顔まで含め上半身以上は必ず映るようにすること。
- 発表者の表情や身振り手振りが分かるような大きさと撮影すること。
- カメラのピントは発表者に合わせること。
- 発表資料はパワーポイントをスクリーンに映すこと。
- プロジェクターの明るさは一定以上が望ましい。
(目安として2,000ルーメン以上とする。)
- 撮影画面構成は以下の図を参考にすること。



- 発表者が全員映るようにすること
- 発表者の表情や身振り手振りが分かるような大きさと撮影すること
- ピントは発表者に合わせること



- スライド画面の切り替えが見えるようにする
- 細かい文字は読めない大きさでも可
(※手元でも資料を確認するため)

(7) 第6回大会の体験発表動画を参考にし、作成すること。

第6回体験発表動画 (You Tube)

URL:<https://wagyukoushien.com/2022/main/koushien04/torikumi/>

5 編集・加工について

- アプリやソフトによる映像・音声加工は禁止する。
- タイトルやテロップ、クレジットの表記は不要とする。

6 動画ファイルの仕様とフォーマット (FHD 推奨)

- 解像度 : 1080p
- 動画アスペクト比 : 16 : 9 (ワイド比率)
- ファイル形式 : MOV または MP4
- フレームレート : 30fps

7 動画提出締切日

- 令和5年12月15日当日消印有効とし、事務局へ送付する。
- 動画データ提出方法は事務局より別途案内する。

2. 大会当日までのご依頼事項：④体験発表会の動画作成での注意事項-その2

和牛甲子園出場校 学校紹介の動画作成のお願い

■ 動画の目的と活用について

- 高校牛児の皆さんがどんなところで和牛飼育に取り組んでいるかを相互に紹介。
- 事務局が動画をYouTubeにアップロード（限定公開）。
- **第7回和牛甲子園HP上で投稿動画を随時公開します。**
- **和牛甲子園大会当日の休憩時間等でも動画を放映予定です。**

■ テーマ

- **和牛甲子園出場校の学校紹介（30秒）**
- （例）学校紹介・牛舎紹介・仲間紹介など、自由にPRしてください。

※参考第6回紹介動画<https://wagyukoushien.com/2022/main/koushien04/special-movie/>

■ ルール

- 撮影機材は自由です。体験発表会動画と異なり動画編集ソフトやアプリなどは自由にご利用ください。
- YouTubeで公開するため、横向きでの撮影をお勧めします。

■ 投稿方法

- 体験発表会動画と同じUSBメモリに入れて和牛甲子園事務局まで送付をお願いします。

■ 締切期間

令和5年12月15日（金）まで



2. 大会当日までのご依頼事項：④体験発表会の動画作成での注意事項-その3

和牛甲子園出場校 出品牛応援動画作成のお願い

■ 動画の目的と活用について

- 購買者に向けて、和牛飼育に掛けた想いを届けよう！
- **1月19日（金）和牛甲子園共励会前に東京食肉市場で放映予定**

■ テーマ

- **和牛甲子園出品牛購買者に向けたメッセージ（10秒）**
- （例）「僕らの青春をかけて、大切に育てた〇〇です。よろしくお願いします！」
- 参考 第6回紹介動画 <https://wagyukoushien.com/2022/main/koushien04/yell-movie/>

■ ルール

- 撮影機材は自由です。
- 体験発表会動画と異なり、動画編集ソフトやアプリなどを自由にご利用ください。
- YouTubeで公開するため、横向きでの撮影をお勧めします。

■ 投稿方法

- 体験発表会動画と同じUSBメモリで和牛甲子園事務局まで送付をお願いします。

■ 締切期間

令和5年12月15日（金）まで



3. 大会Q & A その1：開催・参加人数・補助金

(1) 開催関係：

①令和6年1月18日13時から19日15時30分までの開催となります。

(2) 参加人数：

事前にご連絡いただいた参加者数での対応をお願いします。

(3) 参加補助：「出品牛運送」と「参加旅費等」の2点について出場校に対して補助金を支出します。

①「出品牛運送」に対する補助：第7回和牛甲子園開催要領 [別表3の規定\(P25参照\)](#)に従い補助。

※距離算出は「直線距離」ではなく、GoogleMap等で算出する「高校から東京食肉市場までの実距離」に基づいた支出とします。

②「参加旅費等」に対する補助：第7回和牛甲子園開催要領 [別表4\(P25参照\)](#)の規定に従い補助。

※参加1校あたり最大3名まで、往復にかかる旅費と宿泊費の合計の半額を補助。

③税金部分は原則として補助対象外

④事務局からの「出品牛運送」「参加旅費等」に対する補助金は、出場校の[指定口座等](#)へ今年度3月末までに入金します（学校指定による行政機関の納付書・納入通知書等への対応も可能です）

[※お困りの際は、事務局までご相談ください。](#)

3. 大会Q & A その1：開催・参加人数・補助金一開催要領の別表内容

別表.3 第7回和牛甲子園「枝肉共励会」生体運送に要する経費の補助

項目	使用基準	備考																	
生体運送に要する経費の補助	事務局は学校の所在地から開催地（東京都中央卸売市場食肉市場）までの実距離を基準とした別記1の基準金額か、実経費のいずれかの低い金額を出品校に補助する。	提出書類（支出を証明する書類） ①運送業者の見積り・請求書といった金額が明記されたもの ②あるいは①にかわるもの																	
	<p>別記1.生体輸送に要する補助金額基準表（税抜価格）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">生体運搬費補助の基準</th> </tr> <tr> <th>出品校から開催地（品川）までの距離</th> <th>生体運搬費補助（単価）/1頭あたり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100キロまで</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>200キロまで</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>400キロまで</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>600キロまで</td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>800キロまで</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td>1,000キロまで</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>1,000キロ以上</td> <td>25,000</td> </tr> </tbody> </table>	生体運搬費補助の基準		出品校から開催地（品川）までの距離	生体運搬費補助（単価）/1頭あたり	100キロまで	11,000	200キロまで	15,000	400キロまで	17,000	600キロまで	19,000	800キロまで	21,000	1,000キロまで	23,000	1,000キロ以上	25,000
生体運搬費補助の基準																			
出品校から開催地（品川）までの距離	生体運搬費補助（単価）/1頭あたり																		
100キロまで	11,000																		
200キロまで	15,000																		
400キロまで	17,000																		
600キロまで	19,000																		
800キロまで	21,000																		
1,000キロまで	23,000																		
1,000キロ以上	25,000																		

別表.4 第7回和牛甲子園 参加（旅費・宿泊費）に要する経費の補助

項目	使用基準	備考	
参加旅費・宿泊費の補助	事務局は出品校の生徒および引率教員等に下記の基準に従い支出し、参加旅費・宿泊費を補助する。また、出品校は、補助金の申請にあたり、事務局に支出を証明する書類を提出する。	提出書類（支出を証明する書類） ①利用した交通機関、宿泊施設の領収書（裏面に利用者氏名と押印をすること） ②または①にかわるもの	
	<p>(1)（補助対象の範囲） 参加1校あたりの補助範囲は、生徒・引率教員等含め、最大3名までとする。</p> <p>(2)（旅費・宿泊費に対する補助の基準） 旅費と宿泊に対する補助の基準は別記2のとおり。</p> <p>別記2.参加旅費・宿泊費の補助基準（税抜価格）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>生徒・引率教員等の参加旅費・宿泊費の補助</td> </tr> <tr> <td>往復にかかる旅費と宿泊費の合計金額の半額 (注) 円未満は切捨て</td> </tr> </table> <p>注1. 宿泊費は1人1泊 12,000円（消費税抜）までを目安とする。</p>	生徒・引率教員等の参加旅費・宿泊費の補助	往復にかかる旅費と宿泊費の合計金額の半額 (注) 円未満は切捨て
生徒・引率教員等の参加旅費・宿泊費の補助			
往復にかかる旅費と宿泊費の合計金額の半額 (注) 円未満は切捨て			

3. 和牛甲子園 Q&A その2 : 出荷に必要な経費

(4) 東京食肉市場へのお荷にかかわる経費：セリ上場・販売にあたり発生する経費・手数料

①と畜経費等 : P.27参照

②市場手数料 : 3.5%

・市場手数料(税抜) = (枝金額+内臓金額+皮金額—内臓・皮廃棄) × 3.5% (切捨)
※各金額すべて税抜

・市場手数料(税) = 市場手数料 × 10% (四捨五入)

③出荷奨励金 : JA全農ミートフーズ株式会社のお荷枠を利用するため、1%が奨励金として戻ってきます。

・出荷奨励金(税抜) = (枝金額+内臓金額+皮金額—内臓・皮廃棄) × 1.0% (切捨)
※各金額すべて税抜

④全農手数料 : 1.0%

全農手数料(税抜) = (枝金額+内臓金額+皮金額—内臓・皮廃棄) × 1.0% (切捨)
※各金額すべて税抜

全農手数料(税) = 全農手数料(税抜) × 10% (四捨五入)

※その他、各領域にて発生するJAグループの委託販売手数料等は、個別にご確認願います。

3. 和牛甲子園 Q&A その2-別紙：東京食肉市場と畜経費等一覧

諸経費等一覧

* 税込	課税区分	区分記載集計	牛		豚		子牛		馬		子馬		改定年月日
			枝肉重量 100kg未満	枝肉重量 100kg以上	枝肉重量 100kg未満	枝肉重量 100kg以上	生後1年未満	生後1年未満	生後1年未満	生後1年未満			
と畜使用料	10%	預り	12,571	1,257	1,760	2,514	12,571	6,034	R1.10.1と畜分より				
清浄料	10%	預り	88			88	88	88	R1.10.1販売分より				
検査料	非課税	預り	1,200	310	310	310	1,000	310	H19.4.2と畜分より				
荷下し料・1頭 格付料 (半丸は半額、1円未満の端数は四捨五入)	10%	預り	660	110	110	110	660	110	R1.10.1販売分より				
係宿料	10%	預り	660	110	110	110	660	110	R1.10.1販売分より				
冷蔵保管料・1頭1日 (半丸は半額)	生体	10%	売上	366	94	94	94	366	94	R1.10.1販売分より			
	一般搬入	10%	売上	314(157)	94(47)	94(47)	94(47)	314(157)	94(47)	R1.10.1販売分より			
	指定と場	10%	売上	314(157)	(1頭あたり)					R1.10.1販売分より			
牛生体洗浄料	10%	売上	Aランク - 11,000	Bランク - 4,400	Cランク - 1,650				R4.4.1販売分より				
識別料	10%	売上		10	10								
診断書、検案書・1通	非課税	預り	420	420	420	420	420	420					
と畜証明代・1通	非課税	預り	400	400	400								
注射代・1本	非課税	預り	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050					
牛枝肉全廃棄焼却費	10%	預り	17,000					10,000					R1.10.1廃棄分より
豚生体廃棄料	10%	預り		3,300	3,300								R4.2.1入荷分より
特別と畜料 ※通常の1.5倍	切迫と畜	10%	預り	18,856	1,885	2,640	3,771	18,856	9,051	R1.10.1と畜分より			
	臨時と畜	10%	預り	18,856	1,885	2,640	3,771	18,856	9,051	R1.10.1と畜分より			
豚病害隔離代 1頭1宿	10%	預り		440	440								R1.10.1販売分より

牛内臓価格(税別) R4.8.8と畜分より改定
※内臓消費税は軽減税率8%を適用

枝肉重量510kg未満	
和牛・交雑 (1kgあたり)	45
乳牛 (1kgあたり)	42
枝肉重量510kg以上	
和牛・交雑 (1頭あたり)	22,950
乳牛 (1頭あたり)	21,420
馬 H6.12.1改定	
馬 (1kgあたり)	10
子牛 生後1年未満 H22.8.1と畜分より改定	
子牛 (1kgあたり)	10

牛内臓廃棄価格(税別)
R4.8.8と畜分より改定

		和牛・交雑	乳牛
レバー (廃棄量別)	1/3~2/3未満	1,600	1,300
	2/3~3/3未満	3,300	2,500
	全廃棄	5,000	4,100
心臓		700	600
胃		500	500
小腸		1,500	1,500
テール		200	200
ハラミ (廃棄量別)	1/2~2/2未満	7,000	6,700
	全廃棄	9,300	9,000
頭		650	580
大腸		3,000	3,000
タン		1,200	1,100

牛原皮価格表(税別) R2.9.28と畜分より改定
※原皮消費税は通常税率10%を適用

和牛・交雑 牝	380kg以上	5
	380kg未満	1
和牛・交雑 去・雄	380kg以上	10
	380kg未満	1
乳牛 牝	380kg以上	5
	380kg未満	1
乳牛 去・雄	380kg以上	200
	380kg未満	10
ジャージー 他外国種	一律価格	1
馬		時価
牛(生後1年未満)		1

足骨代(税別)1頭当り
牛・成馬・子馬(当歳)

	5
--	---

↑ H14.11.1と畜分より改定

豚 枝肉重量55kg以上100kg未満 (1kgあたり)			
内臓価格(税別) R4.8.8と畜分より改定			
内臓廃棄価格(税別)	内臓	8	白もの
R4.8.8と畜分より改定	肝臓	2	頭
大貫小貫豚内臓価格(税別) H24.9.19改定	大貫小貫豚内臓廃棄価格(税別) H14.10.1改定		
小貫(枝肉重量55kg未満) 1頭	40	内臓、肝臓、白もの廃棄がある場合	
大貫(枝肉重量100kg以上) 1頭	40	大貫、小貫共 0	

豚原皮価格(税別) R3.5.24と畜分より改定	10
豚原皮大貫(枝肉重量100kg以上の雄)	0
豚原皮(枝肉重量40kg未満)	0

R4.8.8 改定

H26.4.1改定

牛奨励金交付率(概算)		
1日の生体出荷頭数 (格付C1は除く)	5頭未満	0%
	5頭以上	0.5%
1日の枝肉出荷頭数 (格付C1は除く)	5頭未満	0%
	5頭以上	0.7%
牛奨励金交付率(確定)		
1ヶ月の生体出荷頭数 (格付C1は除く)	5頭~100頭未満	0.5%
	100頭~200頭未満	0.7%
	200頭~300頭未満	0.8%
	300頭~500頭未満	0.9%
	500頭以上	1.0%
1ヶ月の枝肉出荷頭数 (格付C1は除く)	5頭~ 50頭未満	0.7%
	50頭~100頭未満	0.8%
	100頭以上	1.0%

豚奨励金交付率(確定)
H23.4.1改定

1ヶ月の生体出荷頭数	10頭~ 100頭未満	0.5%
	100頭~ 500頭未満	0.6%
	500頭~1000頭未満	0.7%
	1000頭~2000頭未満	0.8%
	2000頭~4000頭未満	0.9%
	4000頭以上	1.0%

* 枝肉についてはH12.4.1より奨励金廃止

H28.4.1改定 ↓

事故救済基金金費(非課税)	生体 (指定と場合含む)	1,500
牛 1頭あたり (半丸は半額)	枝肉	200
	格付C1(一般のみ)	100
豚 1頭あたり	生体	10
	枝肉	10

※令和5年11月6日時点
最新情報

3. 和牛甲子園 Q&A その3 : 審査関係事項

(3) 審査関係について

- 枝肉評価部門へ2頭出品している高校の総合評価部門での審査対象について
2頭出品されている高校において、総合評価部門の審査にあたり、成績が優良な枝肉1頭を審査対象とします。なお、枝肉評価部門の褒賞は、瑕疵を除く全ての出品牛が対象となりますので、2頭とも入賞の対象となります。
- 採点結果の公表について
採点結果については公表をいたしません。
なお、希望がある場合に限り、個別で出場校のみの点数をお伝えいたします。

3. 和牛甲子園 Q&A その4：枝肉勉強会での各種撮影行為・服装等

(1) 東京市場内での静止画・動画の撮影について

東京都の規定により、東京食肉市場内では静止画・動画を問わず一切の撮影は禁止です。参加生徒の皆さんの場内撮影は禁止厳守でお願いします。

(2) 枝肉勉強会での引率教員による写真・動画撮影の許可

以上のような厳しい規定がある一方、教育への配慮から、引率教員の皆様に限り写真・動画撮影を認められています。

撮影した動画・静止画は学校内の教育活動への利用に制限はありません。

※なお、勉強会後に行われる共励会・セリ場内の撮影は厳禁です

(3) 撮影した静止画・動画の東京都との確認実施

校内での自由使用にあたり、撮影内容の確認を事務局と東京都で行います。

学校に戻りましたら、撮影内容を事務局からお送りするUSBメモリ等に収め、ご送付ください。適宜、東京都と確認を進めます。（ギガファイル便などでも可）

(4) 撮影した静止画・動画の校外利用

事務局が窓口となり、東京都の許可を取ります。事務局にご相談をお願いします。

(5) その他一枝肉冷蔵庫内の服装について

かなり冷え込みます。温かい防寒仕様の服装をお薦めします。

3. 和牛甲子園 Q&A その4：選手宣誓

(4) 選手宣誓について：選手宣誓校の選出について

1 日目の開会式、2 日目の枝肉共励会冒頭の合計 2 回の選手宣誓を行います。

・選手宣誓をお願いする学校の抽選会を1 2 月初旬に行います。

その模様・結果は和牛甲子園HPで発表します。

・今大会は事前撮影の動画対応ではなく、全て実演を予定しております。



第6回和牛甲子園 開会式選手宣誓
(富山県立中央農業高等学校)



第6回和牛甲子園 枝肉共励会選手宣誓
(愛知県立渥美農業高等学校)

3. 和牛甲子園 Q&A その5 : 出品牛出荷時の注意

東京食肉市場通知文書

令和4年9月吉日

出荷者各位

東京食肉市場株式会社

牛生体に付着した「ヨロイ」の完全除去について（ご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当市場へのご出荷につきまして格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、表題の件について、令和3年6月より「HACCPに基づく衛生管理」が制度化され、当市場においても施行されて1年が経過しました。しかしながら、現在でも「ヨロイ」や「汚れ」が著しく付着した牛生体が数見され、東京都中央卸売市場食肉市場並びに東京都芝浦食肉衛生検査所より厳しく改善指導が発せられているところです。

つきましては、生体搬入時に「ヨロイ」が体表に付着したものについて下記のとおり荷受不可となりますので、「ヨロイ」の完全除去を実施の上、出荷いただきますようお願いいたします。

敬具

記

1. 実施内容および実施時期：

「ヨロイ」基準A、B、C判定にもとづき以下のとおり。

(1) Aランク：令和4年11月1日より荷受不可。

(2) B・Cランク：令和5年4月1日より荷受不可。

2. 「ヨロイ」基準書：別添のとおり。

※当社ホームページにも掲載しています。

なお、荷受不可となった生体の事故やその他のと畜場への転送等にかかる手配・作業・費用については出荷者負担となりますので予めご了承願います。

以上

(1) 書類の確認：様式4と子牛登記証明の具備P16でも触れましたが、内容確認終了後の様式4および子牛登記証明は必ず出品牛とともに配送便に持たせるようお願いします

(2) 衛生関係の徹底事項：牛生体に付着した「ヨロイ」の完全除去について**令和5年4月1日より、東京食肉市場では、生体搬入時に「ヨロイ」が体表に付着したものについては完全に荷受不可です。**

「ヨロイ」は完全除去の上、出荷いただきますようお願いいたします。

※左記は東京食肉市場の通知文書です

違反した出荷牛は、トラックから生体を下ろしてもらえず、そのまま出荷地に戻されることとなります。

3. 和牛甲子園 Q&A その6 : 褒賞一覧

■ 第7回和牛甲子園褒賞一覧 (予定)

		総合評価部門				取組評価部門			枝肉評価部門		
		最優秀賞	奨励賞	参加賞	記念品 パネル	最優秀賞	優秀賞	優良賞	最優秀賞	優秀賞	優良賞
①	全国農業協同組合連合会会長賞	1		41							
②	農林水産省畜産局長賞	1									
③	独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞	1				1			1		
④	東京都中央卸売市場食肉市場長賞	1				1			1		
⑤	東京食肉市場株式会社社長賞	1			61				1	2	3
⑥	全国農業高等学校長協会賞	1	40			1	2	3			
⑦	公益財団法人全国学校農場協会賞	1	40			1	2	3			
⑧	公益社団法人全国食肉学校賞	1	40								
⑨	くみあい飼料工場会長賞	1									
⑩	公益社団法人日本食肉格付協会会長賞								1		
⑪	JA全農ミートフーズ株式会社社長賞								1		
⑫	JA全農ミートフーズ株式会社 東日本営業本部長賞									2	3
⑬	全農畜産サービス株式会社社長賞	1		40							

(副賞)

	・・・ 優勝カップ
	・・・ 盾
	・・・ ベーコンセット
	・・・ 参加記念牛革トロフィー
	・・・ 畜産関係資材

3. 和牛甲子園 Q&A その7 : 和牛甲子園での特別賞

(4) 和牛甲子園での特別賞

■ 審査委員特別賞について

- ・審査委員が上述の表彰以外に授与したい高校があった場合に協議の上、表彰を行います。
- ・審査委員特別賞は、取組評価部門1校、枝肉評価部門1校から選出します。

■ 高校牛児特別賞について

- ・体験発表の動画は事前に学校に公開します（※12月22日予定。別途事務連絡対応）。
- ・全参加校は1月12日(金)17時までに自高校以外の1校に投票を行い、最も得票数を集めた学校1校選出し褒賞します。
 - ※投票方法は別途事務連絡にてご連絡します。
 - ※投票は学校1校につき1票でお願いします。複数投票はできません。
 - ※投票締切日の遵守(1月12日(金)17時)と合わせてご協力をお願いします。
- ・各校は投票の際に、投票フォームに投票理由・評価ポイント等も記載いただきますよう、お願いいたします。

4. 配送ルート：①北海道【道内で協力生産者との共同配送を実施】



集荷者・集荷ルート

1月16日（火）集荷

北海道倶知安農業高校①頭出荷

○洞爺湖農協と共同配送を実施

⇒学校で積み込み後、共同配送便は合流地点○○へ

酪農学園大学附属とわの森三愛高校①頭出荷

⇒自校家畜車で合流ポイント○○まで運送し、
共同配送便と合流

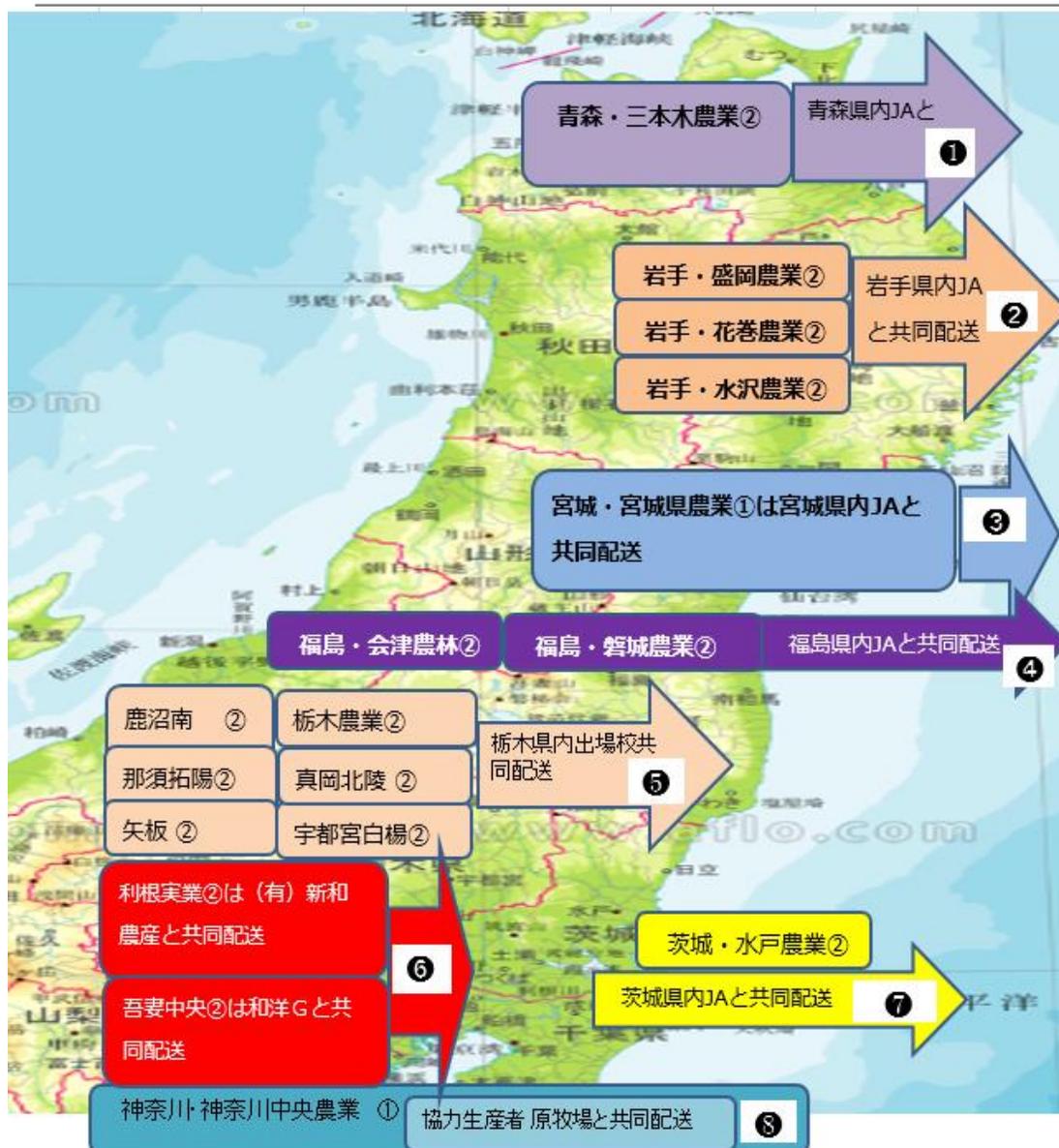
⇒積み込み完了後、東京へ



合流後に東京出発⇒1月17日（水）東京市場着

※合流ポイントと合流時間は
現在確認中です。
決定次第、ご連絡します。

4. 配送ルート：②東北・関東【各出場校の県内で協力者と共同配送を実施】



集荷者・集荷ルート・

- ①青森：三本木農業②頭→青森県内JAと共同配送
- ②岩手：水沢農業②頭・盛岡農業②頭・花巻農業②頭
⇒合計6頭・岩手県内JAと共同配送
- ③宮城：宮城県農業高校①⇒宮城県内JAと共同配送
- ④福島：会津農林②頭・磐城農業②頭
⇒合計4頭・福島県内JAと共同配送
- ⑤栃木：鹿沼南②頭、栃木農業②頭、那須拓陽②頭
真岡北陵②頭、矢板②頭、宇都宮白楊②頭
⇒県内出場校6校・合計12頭で共同配送
- ⑥群馬：利根実業②は(有)新和農産と共同配送
吾妻中央②は和洋グループと共同配送
- ⑦茨城：水戸農業②頭→茨城県内JAと共同配送
- ⑧神奈川：中央農業①頭→協力生産者・原牧場と共同配送

※ 1月17日(水) 午前東京市場着

4. 配送ルート：③中部・北陸・近畿【岐阜・関市場を起点にした共同配送】

集荷者・集荷ルート・緊急連絡先等

ア.愛知・渥美農業高校は学校付近で昌栄便と合流 【16日11時】

渥美農業2頭（愛知）⇒あいち南農協が横毛子
積込場所：J A 愛知みなみ 野田支所
積込日時：1月16日（火）11時



イ.岐阜県・関市場で富山・京都・滋賀・岐阜の全出場校 と合流【16日15時】

- i)富山県立中央農業1頭（富山）
- ii)京都府立農芸農業1頭（京都）
- iii)滋賀県立長浜農業2頭（滋賀）
- iv)岐阜勢3学校合計5頭
(内訳:大垣養老②頭、加茂農林②頭、飛騨高山①頭)

富山県立中央農業、京都府立農芸、滋賀県立長浜農業の3校は、前年同様、合流ポイントである岐阜県関市場までの生体運搬を実施

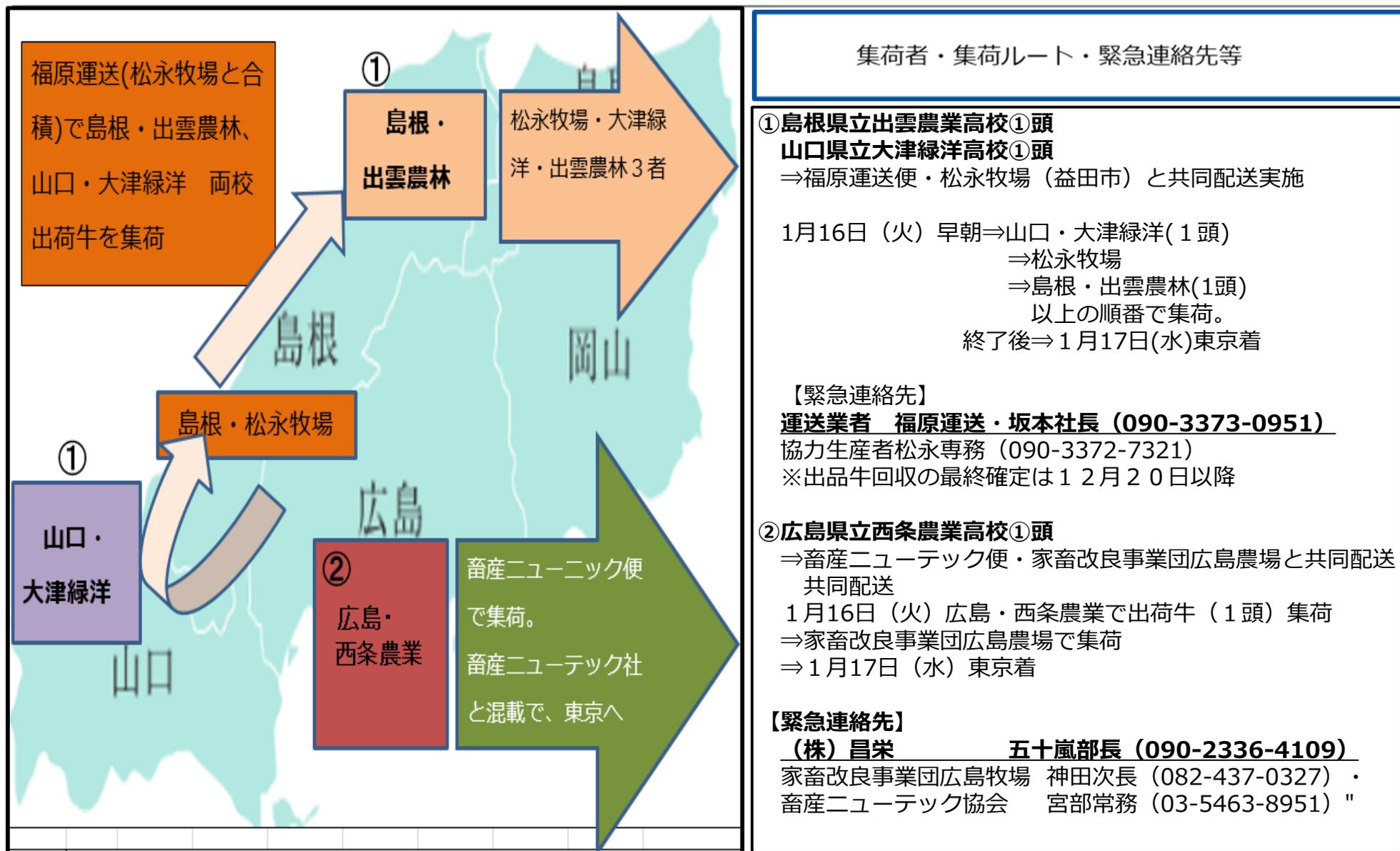


ウ.東京市場へ直行【1月17日到着】

【緊急連絡先】
(株)昌栄 五十嵐部長（090-2336-4109）



4. 配送ルート：④中国【山陰・山陽両地区で協力生産者と共同配送】



4. 配送ルート：⑤九州【宮崎を除く全校は共同配送、宮崎は地元JAの協力で東京へ】

集荷者・集荷ルート・緊急連絡先等

①鹿児島・長崎・佐賀（尾嶋運送利用・3県共同配送）

ア.鹿児島の鶴翔高校をのぞく3高校は尾嶋運送・集荷便で出水中央家畜市場で合流【両半島2便体制】市来農芸②、鹿屋農業②+曾於②

イ.鶴翔高校（②頭）は自校便で出水中央家畜市場へ配送して、合流。

ウ.鹿児島勢は出水中央家畜市場で全頭集結後、尾嶋東京便に積込【9時集合・9時30分出発】したのち、北上。

エ.熊本・道の駅「たのうら」で尾嶋・東京便と熊本・南稜高校（②頭）とドッキング【10時30分】後、北上

オ.基山PA(上り)で唐津南（①頭）が合流・積込【12時30分～13時】後、東京へ【1月17日到着】

【緊急連絡先】：尾嶋運送社長携帯（090-1086-2153）

②宮崎（所管JAの協力により対応）

○宮崎・高鍋農業高校（②頭）は関係JAの協力により東京まで配送へ



5. 参考①：第7回和牛甲子園審査委員一覧（全部門）

第7回和牛甲子園 審査委員一覧（全部門）

		所 属	役 職	審査委員名
総合審査委員長		全国農業協同組合連合会	畜産総合対策部長	高橋 龍彦
取組評価部門	審査委員長	東京農業大学 農学部	教授	多田 耕太郎
	審査委員	独立行政法人 家畜改良センター	鳥取牧場 場長	河村 正
	審査委員	公益社団法人 全国食肉学校	専務理事学校長	小原 和仁
	審査委員	東京都立農産高等学校	校長	江森 忍
	審査委員	東京都立瑞穂農芸高等学校	農場主任 畜産科学科 主任教諭	伊勢 博祥
	審査委員	全国農業協同組合連合会	参事	落合 成年
枝肉評価部門	審査委員長	公益社団法人 日本食肉格付協会	専務理事	小林 淳二
	審査委員	独立行政法人 家畜改良センター	鳥取牧場 場長	河村 正
	審査委員	帯広畜産大学	畜産学部 教授	口田 圭吾
	審査委員	東京食肉市場株式会社	専務取締役	倉林 康樹
	審査委員	東京食肉市場株式会社	取締役	寺内 栄司
	審査委員	J A全農ミートフーズ株式会社	牛肉事業統括本部 副本部長	前田 信吾

5. 参考②：和牛甲子園HP

- 和牛甲子園のHPでは、大会に向けた様々な情報を提供しております。

2024年1月18日（木）・19日（金）開催

開催場所：品川グランドホール/東京食肉市場 中央卸売市場

募集要項・様式
ダウンロード

高校牛児へのエール
(関係者応援動画)

動画版 和牛甲子園通信
(注目校インタビュー)

農業高等学校関係情報
(農業高校情報vol.1)

全国の農業高校生の取組
(農業高校情報vol.2)

大会パンフレット

結果報告書

第6回和牛甲子園 結果

大会ライブ配信

【掲載内容】

- ・ 大会における必要書類
- ・ 過去大会のアーカイブ
- ・ 和牛甲子園通信
- ・ 注目校インタビュー
- ・ 関係者からのメッセージ
- ・ その他関連情報

都度情報を更新していますので是非ご確認ください。



和牛甲子園webサイト

<https://wagyukoushien.com/>

問合せ先：JA全農 畜産総合対策部
和牛甲子園事務局

TEL : **03-6271-8216**

MAIL : zz_zk_wagyu@zennoh.or.jp

担当：川崎・小山・岡田